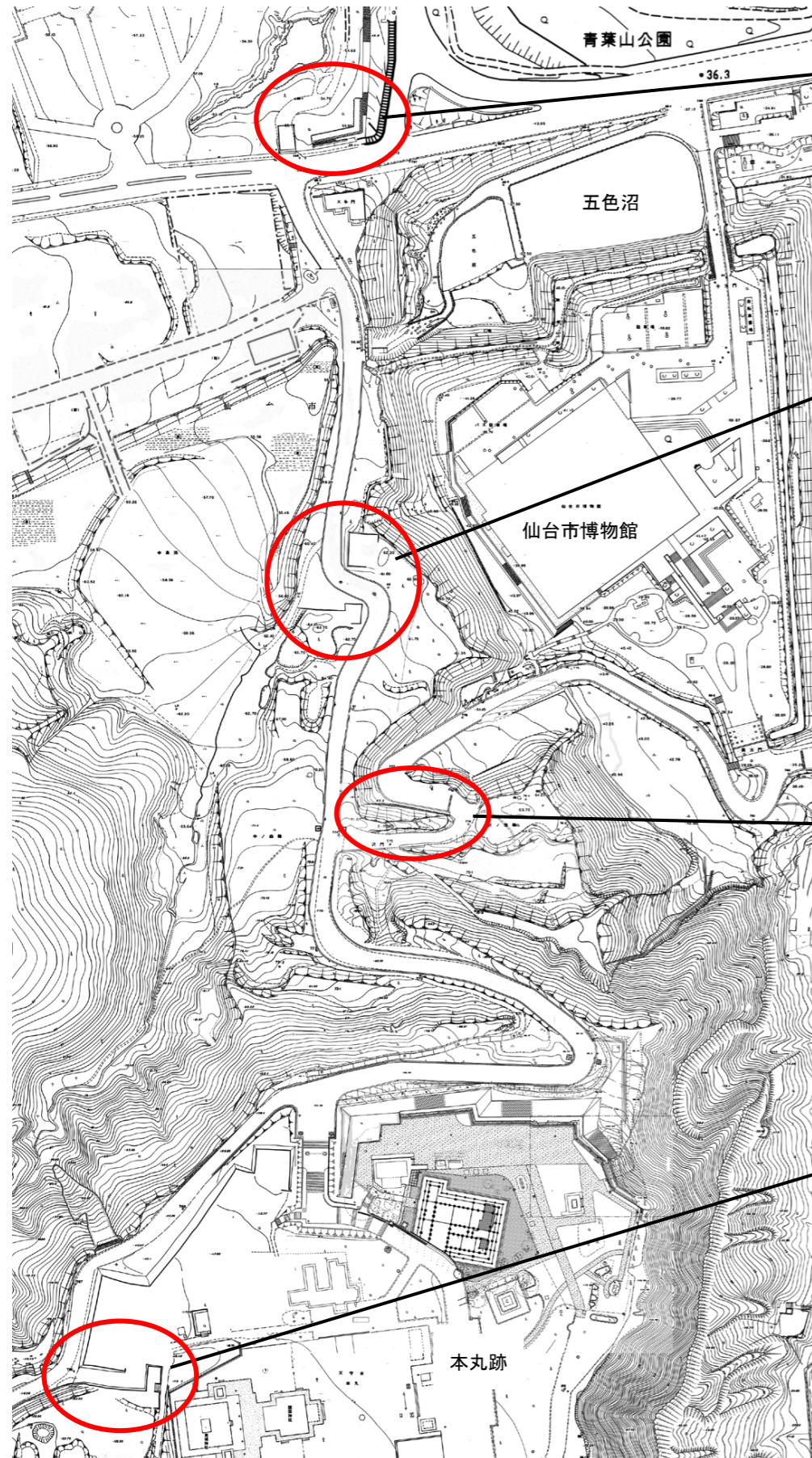


### (3) 福島県沖地震による被災石垣他の復旧について

#### ■被災の経緯

令和3年2月13日(土)23時9分に発生した福島県沖地震(仙台市青葉区:震度5強)及びその余震によって被災した。



#### 大手門北側土塼

漆喰の剥離や亀裂が見られ、雨水や植物の侵入により躯体への影響が懸念される。

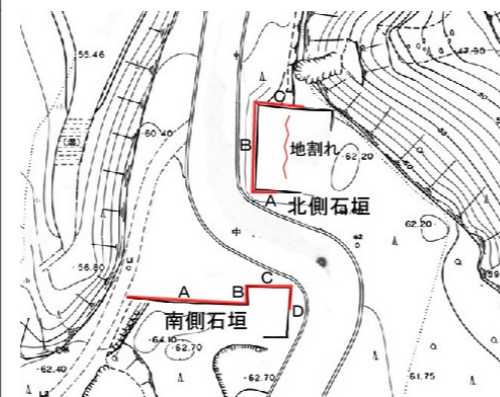
#### 【復旧方針】

剥離および亀裂箇所について、部分的な補修を行う。



亀裂・剥離状況

#### 中門石垣



目地の拡がり、せり出し、ハラミ、間詰石の落下が見られる。

#### 【応急措置】

隣接する市道は歩行者・車両の通行が多いため応急措置を実施した。

- ・南側石垣C、D面隅角部石材の取り外し(3石)
- ・大型土嚢の設置、ブルーシートによる養生

#### 【復旧方針】

被災状況を測量し、記録したうえで解体範囲を確定し解体・積み直し工事を実施する。また、北側石垣北東法面の動きについて地形調査(傾斜計)を行う。



応急措置完了後

#### 沢門下石垣

天端石1石が落下している。ハラミや間詰石の落下は目視ではみられない。

#### 【応急措置】

本石垣は、歩行者が通行する市道追廻天守台線に面しており、応急措置を実施した。

- ・カラーコーンによる侵入防止対策の実施

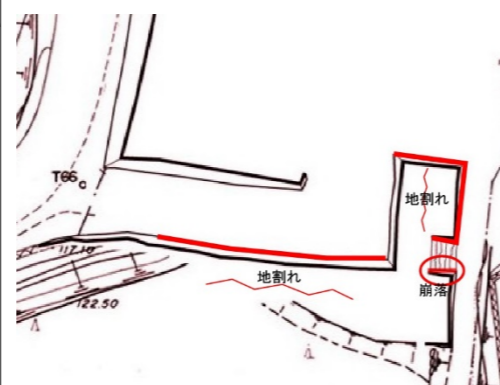
#### 【復旧方針】

被災状況を測量し、被災状況を把握したうえで落下石材は積み直し、その他の被災箇所についてはその後検討する。



落石状況(左) 応急措置完了後(右)

#### 酉門石垣



一部崩落箇所がみられる。また、ハラミ、天端面の地割れが見られる。

#### 【復旧方針】

被災状況を測量し、把握したうえで崩落箇所の積み直しを行い、その他の被災箇所について復旧方法を検討する。



崩落状況